



公益財団法人 大阪対がん協会

大阪国際がんセンター 患者交流棟 2F

TEL 06-7777-3565 FAX 06-6585-0353

E-mail : office@osakacancer.jp HP : <http://www.osakacancer.jp>

今回も若手研究者・医療従事者
15人に贈呈

(受賞者は2ページに掲載)

定期的に受けようがん検診！

早期発見のためには、症状がなくても定期的ながん検診を受けましょう。

2022年度がん研究助成奨励金 受賞者

【基礎の部】

(部門別、50音順)

氏 名	所 属	研 究 題 目	受賞回数
イケダ ジュンイチ 池田 純一	関西医科大学医学部 腎泌尿器外科学講座 研究医員	オルガノイド培養を用いたIntraductal carcinoma of the prostate (IDC-P)の導管内浸潤に関わる因子の解明と新規治療ターゲットの開発	2
オオタニ ナオヤ 大谷 直矢	大阪大学大学院医学系研究科 形成外科 医員	がん切除後の組織再建術の安全性・効率性向上の試み：虚血再灌流障害の新規制御法の開発	1
タカハシ サトシ 高橋 慧	田附興風会医学研究所北野病院 カデット研究員／血液内科 副部長	MLL融合遺伝子関連白血病細胞株において様々なMLL融合蛋白特異的な分子標的薬のsynergistic effectの評価	1
タナカ ノリタカ 田中 伯享	関西医科大学附属生命医学研究所 がん生物学部門 助教	KRAS阻害剤の治療効果改善に向けた低酸素応答関連分子の影響の解明	2
ハリノ タカシ 張野 誉史	大阪大学大学院医学系研究科 消化器外科学 大学院生	NGSを用いた食道癌化学療法抵抗性に寄与するミトコンドリア遺伝子変異の探索	1
ヒラツカ トオル 平塚 徹	大阪国際がんセンター研究所 腫瘍増殖制御学部 研究員	時間的にプログラム化された抗がん剤投与によるヒト膵がんの新規治療法の検討	1

【臨床の部】

氏 名	所 属	研 究 題 目	受賞回数
コガ タカマサ 古賀 教将	近畿大学医学部 外科学教室 呼吸器外科部門 助教	若手呼吸器外科医による非小細胞肺癌の縮小手術に関する多施設共同臨床研究	1
タケシタ ジュンペイ 竹下 純平	関西電力医学研究所 臨床腫瘍研究部 上級特別研究員	非小細胞肺癌の複合免疫療法への耐性に関わる分子機序の解明	2
タケヤス ユウキ 竹安 優貴	関西医科大学 附属病院 呼吸器腫瘍内科学 病院助教	未治療進行期非小細胞肺癌における下気道細菌叢と抗PD-1抗体の治療効果の検討	1
タニグチ セイジ 谷口 聖治	大阪はびきの医療センター 呼吸器外科 診療主任	癌微小環境内の肺胞マクロファージを対象とした早期肺癌の診断法の開発	1
ナカヤ ヨウスケ 中舎 洋輔	大阪公立大学大学院医学研究科 血液腫瘍制御学 大学院生	難治性血液悪性腫瘍に対するHLA半合致同種造血細胞移植におけるALDH遺伝子多型に基づく新規移植戦略の開発	1

【疫学(社会医学)の部】

氏 名	所 属	研 究 題 目	受賞回数
コヤマ シホコ 小山史穂子	大阪国際がんセンター がん対策センター 主査	本邦初の口腔がん罹患月別推移の検証 ～希少がんにおける独自検診事業や著名人の報道は罹患数に影響を与えているのか～	1

【看護等(緩和ケア・リハビリ等)の部】

氏 名	所 属	研 究 題 目	受賞回数
オガワ アイ 小川 藍	関西医科大学大学院 看護学研究科 大学院生	化学放射線療法により味覚障害を有する頭頸部がんサバイバーの症状経過が生活の営みに及ぼす影響と対処方略	1
ニシムラク ミコ 西村久美子	大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻高度がん看護専門 看護師コース 大学院生	大阪府のがん診療連携拠点病院における看護師の緩和ケアに関する知識・実践および困難感の実態調査	1
フクシマ タクヤ 福島 卓矢	関西医科大学 リハビリテーション学部 助教(理学療法士)	多面的機能評価を用いた食道がん術後アウトカムリスク因子の同定	1

がん医療 展望 vol.17

第4期がん対策推進基本計画

2023年4月から新しい第4期がん対策推進基本計画が決まり、今後6年間、がん対策はこの計画を基に様々な政策が実施されていきます。がん計画は2007年から始まり、がん診療連携拠点病院、緩和ケア提供体制、がん患者の就労等の社会的な問題への取り組みなどを重点課題に成果をあげてきました。第3期(2018-22年)計画では「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんの克服を目指す」を目標に、がん予防・がん医療の充実・がんとの共生の3本の柱に沿った総合的ながん対策の推進。新たな課題として若年者等ライフステージに応じたがん対策やがんゲノム医療の推進を実施してきました。

それを受けて今回の基本計画では「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す」を全体目標とした上で、第3期計画の3本柱の構成を維持しながら、各分野に対する取り組むべき施策を以下のように定めています。

- 1) 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実
- 2) 患者本位で持続可能ながん医療の提供
- 3) がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

1) ではがんを予防する方法を普及啓発し、施策を実施することにより、がんの罹患者を減少させ、国民が受診しやすい検診体制を構築し、がんの早期発見・早期治療を促すことで、がんの死亡者の減少を実現することが述べられています。

2) ではがんゲノム医療を初めとした高度ながん医療の提供の推進によりがん医療の質の向上を、それぞれのがんの特性に応じたがん医療の均てん化・集約化及び効率的かつ持続可能ながん医療の提供でがん生存率の向上を、支持療法・緩和ケアの適切な提供によりがん患者・家族の療養生活の質の向上が記されています。

3) にはがん患者・家族が地域社会で生活をして行く中で必要な支援を受けることができる環境の整備、医療も含めた様々な分野と連携し効率的な医療・福祉・保健サービスの提供や就労・教育支援を行う仕組みの構築で社会的な課題の解決、がん患者・家族の全人的な苦痛の緩和により、がん患者が安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を実現することで、患者・家族の療養生活の質を向上させると記載されています。

この計画が実現し、全体目標にあるようにがん患者が誰一人取り残されないようになることを期待したいと思います。

第4期がん対策推進基本計画の概要

第1. 全体目標と分野別目標 / 第2. 分野別施策と個別目標

全体目標：「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す。」

「がん予防」分野の分野別目標

がんを知り、がんを予防すること、がん検診による早期発見・早期治療を促すことで、がん罹患率・がん死亡率の減少を目指す

「がん医療」分野の分野別目標

適切な医療を受けられる体制を充実させることで、がん生存率の向上・がん死亡率の減少・全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す

「がんとの共生」分野の分野別目標

がんになっても安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を実現することで、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す

1. がん予防

- (1) がんの1次予防
 - ①生活習慣について
 - ②感染症対策について
- (2) がんの2次予防(がん検診)
 - ①受診率向上対策について
 - ②がん検診の精度管理等について
 - ③科学的根拠に基づくがん検診の実施について

2. がん医療

- (1) がん医療提供体制等
 - ①医療提供体制の均てん化・集約化について
 - ②がんゲノム医療について
 - ③手術療法・放射線療法・薬物療法について
 - ④チーム医療の推進について
 - ⑤がんのリハビリテーションについて
 - ⑥支持療法の推進について
 - ⑦がんと診断された時からの緩和ケアの推進について
 - ⑧妊孕性温存療法について
- (2) 希少がん及び難治性がん対策
- (3) 小児がん及びAYA世代のがん対策
- (4) 高齢者のがん対策
- (5) 新規医薬品、医療機器及び医療技術の速やかな医療実装

3. がんとの共生

- (1) 相談支援及び情報提供
 - ①相談支援について
 - ②情報提供について
- (2) 社会連携に基づく緩和ケア等のがん対策・患者支援
- (3) がん患者等の社会的な問題への対策(サバイバーシップ支援)
 - ①就労支援について
 - ②アピアランスケアについて
 - ③がん診断後の自殺対策について
 - ④その他の社会的な問題について
- (4) ライフステージに応じた療養環境への支援
 - ①小児・AYA世代について
 - ②高齢者について

4. これらを支える基盤

- (1) 全ゲノム解析等の新たな技術を含む更なるがん研究の推進
- (2) 人材育成の強化
- (3) がん教育及びがんに関する知識の普及啓発
- (4) がん登録の利活用推進
- (5) 患者・市民参画の推進
- (6) デジタル化の推進

第3. がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

1. 関係者等の連携協力の更なる強化
2. 感染症発生・まん延時や災害時等を見据えた対策
3. 都道府県による計画の策定
4. 国民の努力
5. 必要な財政措置の実施と予算の効率化・重点化
6. 目標の達成状況の把握
7. 基本計画の見直し

会員のみなさま

賛助会員継続・会費お振込みのお願い

平素より、大阪対がん協会の活動にご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。
大阪対がん協会は、従来から公益目的事業であるがん征圧運動に取り組んでいます。
また、がん患者さんの支援についても、令和5年度は、更に強化を図り、よりご期待に応えられるよう、取り組んでまいりますので、引き続き温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。
つきましては、令和5年度についても賛助会員の継続をお願い申し上げます。
賛助会員の会費のお振込みは、同封の「払込取扱票」をご利用ください。なお、振込手数料は、誠に恐縮ではございますが、ご負担をお願いいたします。
時節柄、皆様におかれましては、ご自愛いただきますようお願い申し上げます。

日本対がん協会のがん検診無料デジタルクーポン券プレゼントキャンペーン

ご希望の方は、下記 URL 又は QR コードからお申し込み下さい。

発行枚数に限りがございますので、ご希望の方は、お早めにお申し込み下さい。

■予約期間 2023年7月1日～2023年9月30日

■検診期限 2023年10月31日まで

■申込フォーマット用 URL 又は QR コード

【子宮頸がん・・・10枚】

URL https://area31.smp.ne.jp/area/table/28964/chap0d/M?S=pdlfk2letikb&27364_13138047_1=1&ex_type_27367_13138047=8&eventID=events202327

QR コード



【乳がん・・・・・・30枚】

URL https://area31.smp.ne.jp/area/table/28964/chap0d/M?S=pdlfk2letikb&27364_13138047_1=2&ex_type_27367_13138047=8&eventID=events202328

QR コード



【肺がん・・・・・・10枚】

URL https://area31.smp.ne.jp/area/table/28964/chap0d/M?S=pdlfk2letikb&27364_13138047_1=3&ex_type_27367_13138047=8&eventID=events202329

QR コード



【大腸がん・・・・・・10枚】

URL https://area31.smp.ne.jp/area/table/28964/chap0d/M?S=pdlfk2letikb&27364_13138047_1=4&ex_type_27367_13138047=8&eventID=events202330

QR コード



【胃がん・・・・・・10枚】

URL https://area31.smp.ne.jp/area/table/28964/chap0d/M?S=pdlfk2letikb&27364_13138047_1=5&ex_type_27367_13138047=8&eventID=events202331

QR コード

